

教育会だより No. 3

＜定期総集会特集＞

諏訪教育会本年度テーマ

より深め、より開き、より据える ～活かそう伝統を つなごう未来へ～

5月21日(土) 諏訪市文化センターにおいて、令和4年度 諏訪教育会定期総集会在開催されました。(本年度より半日開催となりました)本年度は、新型コロナウイルス感染症対策として各校令和2、3年度の入会員の先生方を中心にご参集いただきました。感謝申し上げます。ありがとうございました。

本年度は、「あり方・沿革史委員会」「植物委員会」の2つの委員会による会員発表が行われました。本年度サブテーマ「活かそう伝統を、つなごう未来へ」につながる内容を発表していただき、有意義な時間を過ごすことができました。定期総集会の詳しい様子については会誌や会報、諏訪教育会ホームページ等に掲載されますのでご覧ください。

会長挨拶(抜粋) 令和4年度 諏訪教育会長 溝口 純永

風薫る五月も後半。令和4年寅年御柱が終わり、木々の緑が深まりを見せる季節となりました。新型コロナ感染症蔓延防止のため、令和2年度、3年度と中止せざるを得なかった諏訪教育会定期総集会ですが、3年ぶりに開催の運びとなりました。今回の開催は、令和2年度に組織された「あり方委員会」の提言に基づいて半日日程で行われる初めての総集会であり、新たな一步を踏み出したと言えます。一方、新型コロナ感染症の警戒レベルは引き続き高いために、本来ならばご来賓としてお招きすべき多くの諸先輩方、お世話になっている皆様、関係者の皆様にご臨席いただけなかったこと、また、一部の会員しか参集いただけなかったことは会長として痛恨の極みであり、この場をお借りして心よりお詫び申し上げたいと思います。



さて、ここまで数々の歩みを刻んできた諏訪教育会は、明治15年7月2日の創立以来140周年を迎えました。諏訪教育会創立当時の、諸先輩方の願いや思い、創設のねらいは何だったのでしょうか。創立100周年を記念して編集された「諏訪教育会百年の歩み」の「序」において、当時の教育会長である田村和郎先生は、「近代学校教育の理念と方法の究明と確立を図ること」を述べられています。創立当時のみならず諸先輩方は、140年の長きにわたって時代ごとの課題や求められるものに真摯に向き合い、誠意と熱意をもって教育課程の編成や指導方法の確立などに取り組んで来られました。そして、たゆまぬ探究心や諏訪教育会に対する熱い思いを持ち続けて育て、発展させて、次の世代へと引き継いでくださいました。

また、諸先輩は、未来を見据えて多くのものをつくり出してくださいました。例えば、その一つが「諏訪教育会植物標本」と、昨年度発刊されたその目録です。諏訪教育会では昭和30年に調査出版部の中に「諏訪の自然委員会」が設置され、本格的な調査研究に取り組んで67年。寄贈も含めて総数23299点の標本が諏訪教育博物館の標本室の標本棚に丁寧に整理されて保存されていますが、諏訪地方の成り立ちを知る上でも、学術的な面でも大変貴重な資料であることは言うまでもありません。本日、「植物委員会」が発表してくれます。

また、創立以来諏訪教育会は、「互いに支え合い、協力して職能向上に向けた研修に努めることにより、目の前の児童生徒の健やかな成長を支える」ことを、公益社団法人諏訪教育会となってからは、「会員相互に協力して教育精神を高め、教育に関する事項及び児童・生徒の健全な育成と地域文化の向上等に関する事業を行い、学校・地域・家庭の教育力の向上と地域文化の推進に寄与する」ことを一貫して行ってまいりました。そこで、今年度の諏訪教育会テーマは、「より据える より開く より深める」を継続させるとともに、キーワードを「一貫」とし、サブテーマを「活かそう伝統を つなごう未来へ」といたしました。創立以来140周年を迎えた節目の年であることを踏まえ、諏訪教育会は、これまでも、そしてこれからも、自ら求めて高め合おうとする仲間が集い、子どもたちや地域、自分自身の未来を見据えて共に学び合う職能団体であることを確かめ合い、確固たるものにする一年にしたいと願っています。そのために、先生方の主体的な学びを支える活動を一層充実させ、展開してまいりたいと考えております。また、創立121年目から140年目までの、諏訪教育会の歩みを沿革史としてまとめます。その内容や進捗状況、今後の予定などについて本日「あり方・沿革史委員会」が発表してくれます。さらに、昨年度までと同様、諏訪教育博物館を軸にした活動を大事に考えております。教職員や子ども、地域の皆さんに、そのよさを実感し、積極的に利用していただけるよう企画を工夫するとともに、館内展示のリニューアルを行うなど会員の協力のもとで内を開き、外に開く場所にしていきたいと思っております。これらを生かして共有しながら、令和4年度諏訪教育会の活動を全員の力で充実させていきましょう。

結びに、本日の定期総集会是、参加者的にも時間的にも限られたものではありませんが、お集まりいただいた会員の皆さんにとって学びがあり意義ある総集会となることを祈念して、挨拶いたします。ありがとうございました。

『諏訪教育会の歩み』

～ 創立 121 周年から 140 周年を中心に～

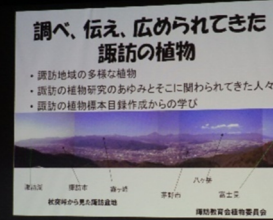
平成 15 年の諏訪教育会創立 121 周年からの 20 年間に行われた「定期総会」「諏訪季節大学会」「各委員会活動」「各種研修会」等の事業をふりかえり、令和 4 年度以降の未来を見据えました。

あり方・沿革史委員会

会員発表

『調べ、伝え、広められてきた諏訪の植物』

「諏訪地域（諏訪湖や水辺、八ヶ岳、霧ヶ峰等）の多様な植物」
「諏訪の植物研究のあゆみと関わられてきた多くの方々」「諏訪の植物標本目録作成からの学び」の発表を通して、あらためて諏訪の自然に目を向けるきっかけをいただきました。



植物委員会

< 感染症対策をとって実施 >

受付での健康観察カード確認、検温、
座席間隔、消毒等の感染症対策を講
じて実施いたしました。



新入会員研修会 5 / 27・5 / 31



会長による 諏訪教育会の紹介



5月27日、5月31日に教育会新入会員研修会が諏訪教育会館にて開催されました。本年度は、感染症対策として、期日を2日間にし、小学校の先生方と中・養護学校の先生方に分けて実施しました。

諏訪に新しく赴任された先生方に、諏訪教育会及び信濃教育会の事業内容や諏訪の教育について理解を深めていただく機会として行われました。教育会館・教育博物館等の施設を実際に見学していただきました。これからの研修や教育活動に行かしていただきたいと思えます。

< 参加者感想 >

- 「会長先生の説明から、諏訪教育会の歴史を知ることができました」
- 「教育会館に博物館が隣接されていて驚きました」
- 「郡史編纂室やライブラリーを活用できたらと思います」

教育博物館にて



教育会事務室にて



多くの新入会員



ライブラリーにて

